

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

<2018.01>

2017年7月～2018年6月



国際会長
アジア会長
東日本区理事
関東東部部長
クラブ会長

Henry J Grindheim「ともに、光の中を歩もう」(ノルウエー)
Tung Ming Hsiao「ワイズ運動を尊重しよう」(台湾)
栗本治郎「広げようワイズの仲間」(熱海)
長尾昌男「義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう」(千葉)
浅見隆夫「親睦なくして奉仕はない」(グリーン)

会 長 浅見 隆夫
副 会 長 西澤 紘一
書 記 目黒 卓
書 記 布上征一郎
会 計 浅見 クミ子
会 計 佐野 守
監 事 柿沼 敬喜
担当主事 松本 竹弘

1月 新年、天地の創め

初めに、神は天地を創造された。地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。

(創世記1:1～2)

<神さまが、いるとかいないとか、そんなことは問題にしないで、
初めに、神は、と聖書は始まります>

2018年1月 新年例会

新しい年を迎えて

日時:2018年01月17日(水) 18:30～21:00
場所:「COOKAI ぐうかい」2F 浅草橋 1-21-9
会費 4000円 TEL03-3866-6157
受付:青木君/司会:目黒君

開会点鐘・挨拶 浅見会長
聖句・お祈り 古平君
ゲスト・ビジター紹介 浅見会長
乾杯 (次期会長)佐野君

食 事 ぐうかい自慢の料理とお酒をご堪能下さい

メンバースピーチ (一言に添えてニコニコ献金)
～今年の抱負を数分でお話ください～

YMCA 情報 松本君
神田川委員会報告 目黒君
Happy Birthday<佐野・布上・樋口・新倉様 4名>
ニコニコ発表 浅見君
閉会点鐘 浅見会長



会長 浅見隆夫
明けましておめでとうございます。

皆さんは憩室をご存知ですか?
加齢によるもので、それ自体何も支障はないのですが出血を伴い大量に下血すると貧血や血圧低下、ヘモグロミン減で治療が必要です。

私は4～5年ほど前に大量下血し緊急入院、大量の輸血で一命を取り留めました。その後2～3回軽い下血で入院しましたが、ここ半年は何事も起こりませんでした。

主治医も未だヘモグロミンが少ないので気を付けるよう12月4日の定期診療で指示されたばかりでしたのに12月25日大量下血、慣れたもので入院支度して国際医療センターに飛び込みました。空き室が無いので待つ間医師といろいろ話しましたが「酒もそれほど飲まないし何が原因だろう、何か薬を飲んだ?」「ハイ風邪薬を」「お薬手帳は持ってきた?」「これだこれだ、この薬が出血原因だ!」原因が判明し出血も止まっているので帰宅しました。食事に気をつけ安静にして暖まりながら年賀状書きをしていました。未だ後遺症で貧血があり無理は出来ませんが日常生活に支障は無く過ごしています。

皆様も薬の副作用に十分気を付けてください。
今年はグリーンクラブ設立45周年を祝って特別例会を開催いたします。体力に見合った活動で盛り上げていきたいと思っています。ご協力をお願いいたします。

*会場は浅草橋駅すぐ。2Fを借り切りました。

【例会出席率】 在籍:17名(含広義会員1名) メーキャップ 1名 出席率 16/16 100%

出席:12月クリスマス例会 (クラブ出席者 メン 15名 メネット 2名 計17名)

【ニコニコ】 12月クリスマス例会 25,000円(全額をYMCAに寄贈) 今期累計 35,000円

＜2017年12月 **クリスマス**例会 報告＞

日時:2017年12月20日(水) 18:30~21:00
 場所:ふたみ食堂 台東区浅草橋 1-31-4 大原 B1
 出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)・柿沼・古平・佐野
 高谷・西澤・西本(東)・西本(晃)・布上(征)
 布上(信)・早瀬・樋口・平林・松本・目黒 (17名)



今年のクリスマス例会は浅草橋の居酒屋「ふたみ食堂」という鹿児島料理と鹿児島焼酎の専門店です。20名も入れば満杯という小さなお店ですが、今年の2月に開店してひよんなことで、布上の懇意にしているところから、強引にこの店を借り切りにしてもらい、グリーンメンバー17名で和気藹々、飲み、食べ歌って今年の締めとした次第。

古平のクリスマスメッセージは「飼い葉桶の救い主」としてお話を伺った。「もろびとこぞりて」「きよこの夜」はラジカセを持ち込みX'masカラオケCDを流して本格的に斉唱。献金は西本メンの寄贈もあって合計25,000円を松本主事に託し、YMCAから災害などの支援金として活用してもらった。



乾杯は西本メンにお願いした。早瀬メンも久しぶりの食事会参加、さらに樋口メンは休会から復帰をすることになり、今回のクリスマス会は全員がそろっての賑やかな楽しい例会となった。料理もまあまあという評判で一安心。



お楽しみは各自が持ち寄った「プレゼント」をくじ引きで当たった番号の品を貰う仕組みで、何が当たるかわからないところが面白い。アピールタイムでは今年3月21日(水・休日)に行われるグリーンクラブ設立45周年記念例会の準備に関して結束して当たることを確認、了解した。(右に第2報の画像) 12月の誕生日祝いは浅見クミ子メンと西澤与子メネット。(布上 記)

＜2017年12月 **第二例会** 報告＞

2017年12月06日(水) 18:30~20:00
 和泉橋区民館 出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)
 柿沼・高谷・西澤・布上(征)・布上(信)目黒・松本

1. 配布資料
理事通信
2. 報告・連絡事項 <報告資料 配布>
 - ①今後役員会を従来の第2水曜日に戻し例会は第3水曜日とする
 - ②沖 利柯さん還暦を祝う会報告
 - ③三島クラブ 40周年記念例会報告
 - ④クリスマスオープンハウス協力金一万円支出
 - ⑤東日本区メネット会報告
 - ⑥江戸城ウォーキング(東京クラブ)参加報告
 - ⑦12月グリーンクリスマス例会
12月20日 18:00~21:00 浅草橋「ふたみ食堂」@5,000(飲み放題) *アトラクション プレゼント交換 <クリスマス例会プログラム案 配布>
 - ⑧その他
3. 審議・協議事項
 - ①国際投票の件
*次期国際会長 *国際憲法改正
 - ②1月新年例会 2018年1月17日(水)
*くうかい COOKAI 2階貸し切り 18:00~21:00.
*@5,000(飲み放題)

Happy Birthday
1月 佐野 守(メン) 布上征一郎(メン)
 樋口 順英(メン) 新倉 登美子(メネット)

 クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい
 (2017-18年度 会計:浅見クミ子)
 <会計担当・口座番号 変更になりました>
 みずほ銀行 駒込支店 店番号559 (普)1310439
 口座名 東京グリーンワイズメンズクラブ

45th Anniversary
 Hold on Together for Tomorrow
 ~心を繋げよう、明日に向かって~

第2報

東京グリーンワイズメンズクラブ
 ~設立45周年記念例会のご案内~

日時	2018年3月21日(祝・水) 受付 12:30~ 第1部 13:00~ / 第2部 記念式・記念講演 13:30~ 第3部 15:00~17:00 (予定)
会場	「オーラム / AURUM」 総合宴会場 台東区東上野 1-26-2 03-5612-1133 www.aurum-teno.jp
記念講演	小澤 弘 氏 <small>国際洋行総協会常任理事 江戸東京博物館名誉研究員 / 麻理大学人文学部客員教授</small>
演題	<城郭都市江戸と水辺の風景>
アトラクション	櫻川流 江戸芸 江戸の粋<かつばれ> (櫻川后継社中)
会費	5000円 / 名様を承ります

ご参加お申し込み、受付を始めました。
 皆様のお越しをお待ちしております。

<別紙にご参加を頂くお名前を記載の上、出来ればクラブ単位でお申し込み下さい>
 お問い合わせ:45周年実行委員会(電話 090-6961-8995) / 総務(090-9838-9544)

東京グリーンワイズメンズクラブ 会長 浅見隆夫
 設立45周年記念例会 実行委員長 柿沼敬吾

東京 YMCA X'masオープンハウス:バザー

2017年12月23日(土)東京YMCA東陽町センターでの最後のクリスマスオープンハウス&バザーが開催された。この準備には前日、当日早朝と東京YMCAの諸君とワイズの有志により例年通り完璧に行われ、当日の模擬店、バザー会場ともたくさん数千人の来場者で賑わった。



グリーンクラブは恒例、フランクフルト焼きと甘酒を担当。今年のフランクは300本を用意したが有り難いことに午後2時ごろには完売となった。甘酒と加えて収益金16000円を寄贈出来た。学習院の学生Yの奮闘のお陰です。(下は完売時の写真:最後のお客は山手クラブ飯野さん)



今年のオープンハウス模擬店全体の収益は60万円程度と聞いている。いくらかでも協力出来て良かった。バザーのグリーン女性陣、布上(信)からの報告。

「今年もクリスマスバザーメネットの部として参加させていただき、浅見さんから古布の提供、柿沼さんから製作品数種類、青木さんからブーツの室内履き、塩入さんからお酒他数点、また布上は赤飯、オカキなどを提供しました。バザーの売上は

34,500円になりました。皆様ありがとうございました」

模擬店、バザー、抽選会を全て終了し今年度はクリスマスオープンハウス関係者(実行委員、YMCAスタッフ、ワイズ、東陽二丁目町会、ボランティアの皆さんで当会場での最後の名残りとして「クリスマス・パーティー」を行った。クラブ参加の男性陣浅見・柿沼・布上 (布上 記)



2018年在京ワイズ合同新年会 開催



2018年1月13日(土)12:30~15:30 会場:しのめYMCA こども園2階 ノアホールに150名の在京ワイズクラブの皆さんが出席、東京ベイサイドクラブの素晴らしい企画演出、若々しい皆さんの心意気が十分に伝わりました。

第1部礼拝で北秀樹牧師が語られた、フィリピの信徒への手紙「互いに相手を自分より優れたものと考え相手の事に気を配りなさい……」お・も・い・や・りの神髄ですね。

第2部懇親会では会場準備の間、別の部屋で「日本酒」の飲み比べ。ここで多少酔ったかな。となりの部屋ではワイン、焼酎、各地の銘酒をいただきました。

祝会場での料理は本物のインド料理を堪能しました。カレーは3種類、揚げ物、サラダ、ドリンク類もたっぷり。



そしてショータイムでは迫力あるサクソ演奏。グリーン代表で青木メンがステージを占領した次第。……若いね〜！！

会の終了後、イオンの1階にあるコメダコーヒー店で臨時のクラブ懇談会。3月21日のクラブ設立45周年に着用するクラブのカラーと雰囲気を表せるような「特製:江戸風半纏」を作ることを相談した。(布上 記)

グリーンクラブ次期キャビネット

会長 佐野 守 副会長 西澤絃一 浅見隆夫
書記 布上征一郎 会計 柿沼敬喜(監事兼務)
神田川船の会実行委員長 目黒 卓

東京YMCA本部事務局・会員事務局 移転のお知らせ

2018年1月22日(月)より下記にて営業開始
〒169-0051

東京都新宿区西早稲田2丁目3番18号

日本キリスト教会館6階

本部事務局代表電話番号: 03-6302-1960

本部事務局FAX: 03-6302-1966

ブリテン図書室

第43回『海と毒薬』 遠藤周作 (1958年)



太平洋戦争中に捕虜となった米兵が臨床実験に供された悲劇の実話(九州大学生体解剖事件)を下に書かれた小説である。

ある小さな町に引っ越した男が、治療のための医院を訪れる。その医院の医師勝呂と出会うが、彼はかつての解剖事件に関与した人物であることを知る。

勝呂の生い立ちから医師となるまでの経緯が描かれ、最終的には当該大学病院の勤務医となる。戦時下の大学病院は戦時体制に組み込まれており、常時命の選択が行われていた。あるとき重症患者である『おぼはん』が手術の実験に供される時、勝呂は反対の気持ちを強く持つが最期は医局の体制に流されてしまう。こうして、命を救う職業である医師が、戦争のための尊い犠牲であるとの正義の下に治療ではなく実験としての手術が続いて行く。痛烈な不条理を感じつつ、周り全体がそれを正義と見なすようになるとその不条理さえも正常と化する。いくら正義を唱えても全体が異常な状態であれば、その正義さえ異端となる。これが戦争である。

この小説のクライマックスは、敗戦が見えてきた頃、撃墜されたB29の搭乗員が捕虜となり、彼等の何人かが大学病院で戦時医学のためと称して生体実験がなされた事件を描いている。彼の同僚である戸田医師は、日本国民として当然の貢献であると進んで実験に参加する。体制に貢献すること、戦時法律に違反しないこと、すなわち罰を受けなければ全てが許されると言う日本人の心情、一方で、罪意識を持ち良心に苛まれる勝呂との対比で、罰さえ免れれば罪はないと言う日本人を痛烈に批判している。

現在の政府や官僚が開き直っている態度と同じである。法律に触れなければ(罰をまぬがれば)、何をしようと、これすなわち正義であると強弁している意識と重なる。神の前に立って意識する罪こそが、人間の人間たる価値であろうと作者は問いかけている。人間とは、周りの80%が正しいと認識すれば、それが正義となることもやむを得ないと考えている。生命を最重要に考えている医師さえも戦時下で、どうせ処刑される敵国の捕虜なら、生体実験に供されても仕方がない、むしろ日本国のためになっていると考えていた。戦後の戦犯裁判においても、命令を執行しただけ、仕方がなかったと一切の罪意識を持たないことに驚かされる。罰を受けなければ何をしても許される、誰もがやっている、戦争への貢献度の強弱で評価される...戦争時の常識がすべての人を支配しその結果思考停止をもたらし、言われたままに行動する人間の恐ろしさ、戦争の本当の悲劇は、物理的な破壊ではなくこうした人間の心の破壊であることを訴えている。60年近い昔に上梓された小説であるが、今の世の中を痛烈に批判しているように感じた。遠藤周作の言葉の力であろう。

(西澤紘一 記)

YMCA コーナー

▼東陽町クリスマスオープンハウス 2017

今回は東陽町センター全館を使用して行われた最後のクリスマスオープンハウスとなりました。町会や企業、近隣小学校、YMCA会員や学生などたくさんの方に協力いただき12月23日(土)に開催しました。

今ではすっかり地域の風物詩となったこのイベント。バザーに模擬店、子どもの遊びコーナーに発表会など、今年も朝から夕方まで、館内は数千人の笑顔であふれました。尚、来年度のこのクリスマスイベントは形を変えて開催する予定です。



餅つきは今年も、近隣小学校の先生方が大活躍!



体育館では、空手、バレエ、新体操、体操、チアリーディングクラスの子どもたちが日ごろの成果を発表。



防災コーナーでは、深川消防署と深川消防団による「AED講習会」「煙体験コーナー」と、スターツCAM株式会社による起震車体験を開催。



HISWILL Gospel Choirによる迫力のゴスペル



社会体育・保育専門学校の学生による大抽選会!「ヘリコプターナイトクルーズ」に「ニンテンドースイッチ」と豪華な景品が並び、会場は大興奮でした。

▼東陽町コミュニティセンター

2018年リニューアルオープン

2018年4月より東京YMCA東陽町センター1階正面に、東陽町コミュニティセンター事務所が移転します。東陽町センター開設から30年が経ちました。今まで行ってきた地域活動を会員の皆様や地域の皆様と一緒に、より積極的に行ってまいります。様々な地域や社会の課題に取り組み、また地域に開かれた場所になりたいと願っています。お気軽に足をお運びください。(主事 松本竹弘 記)